

第1章

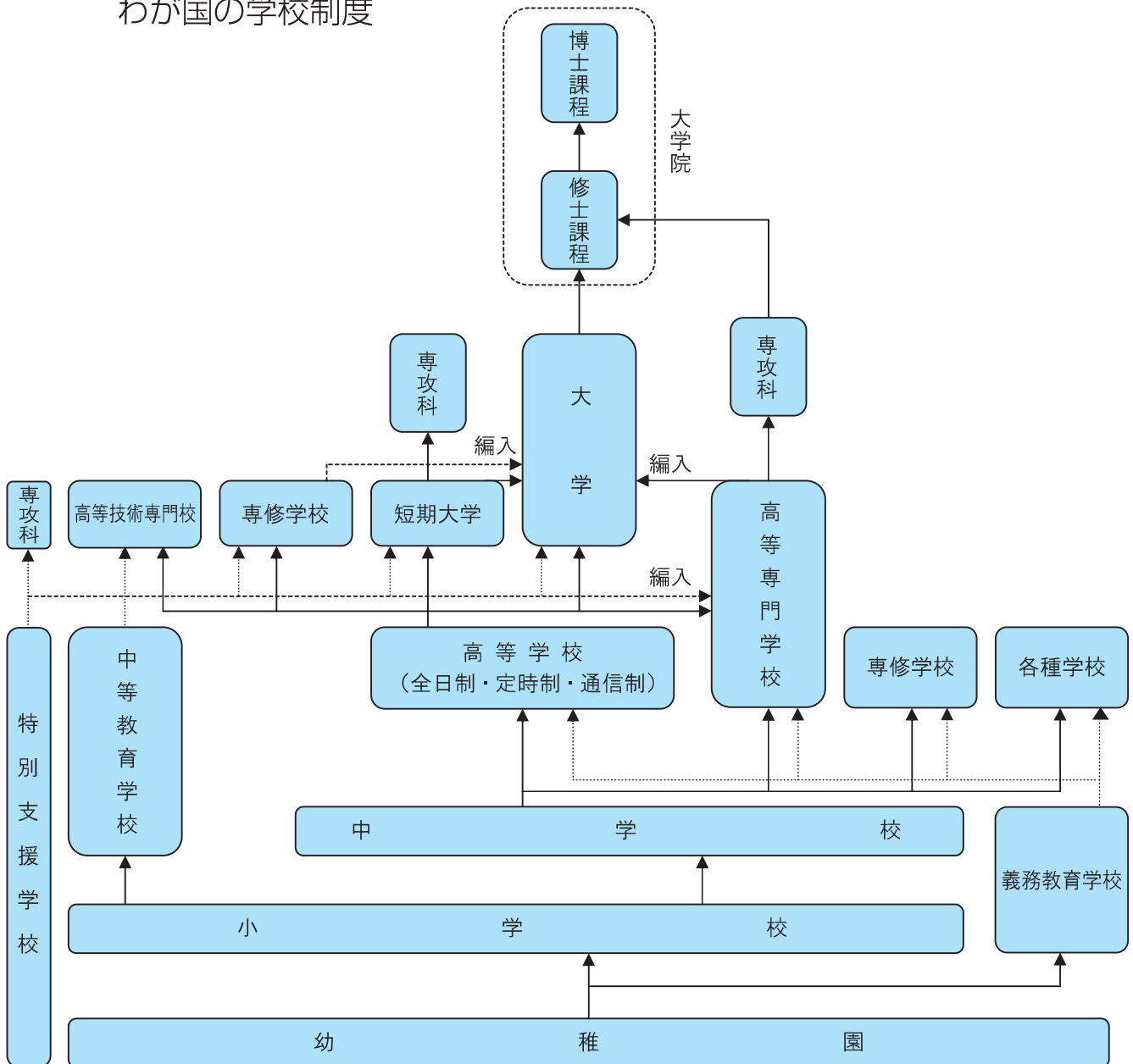
高等学校をよく知ろう

1 高等学校ってどんなところ？

① 高等学校の役割

あなたの周囲には、いろいろな学校があります。まとめると、次のようになります。

わが国の学校制度



今のあなたは中学生です。中学校までは義務教育ですが、中学校を卒業すると、自分の適性や能力に応じていろいろな方面に進むことができます。自分に最も適した職業につくためには、必要な資格を取ったり、資格試験や採用試験に合格したりしなければならないでしょう。また、これからの社会では、より豊かな人間性を身につけるための学習も必要です。中学校で学習したことを基礎に、これらの知識や技能を体系的に学習し、必要な資質・能力を身につけ、磨く場が高等学校なのです。したがって、高等学校を決める際には、次の点に留意することが大切です。

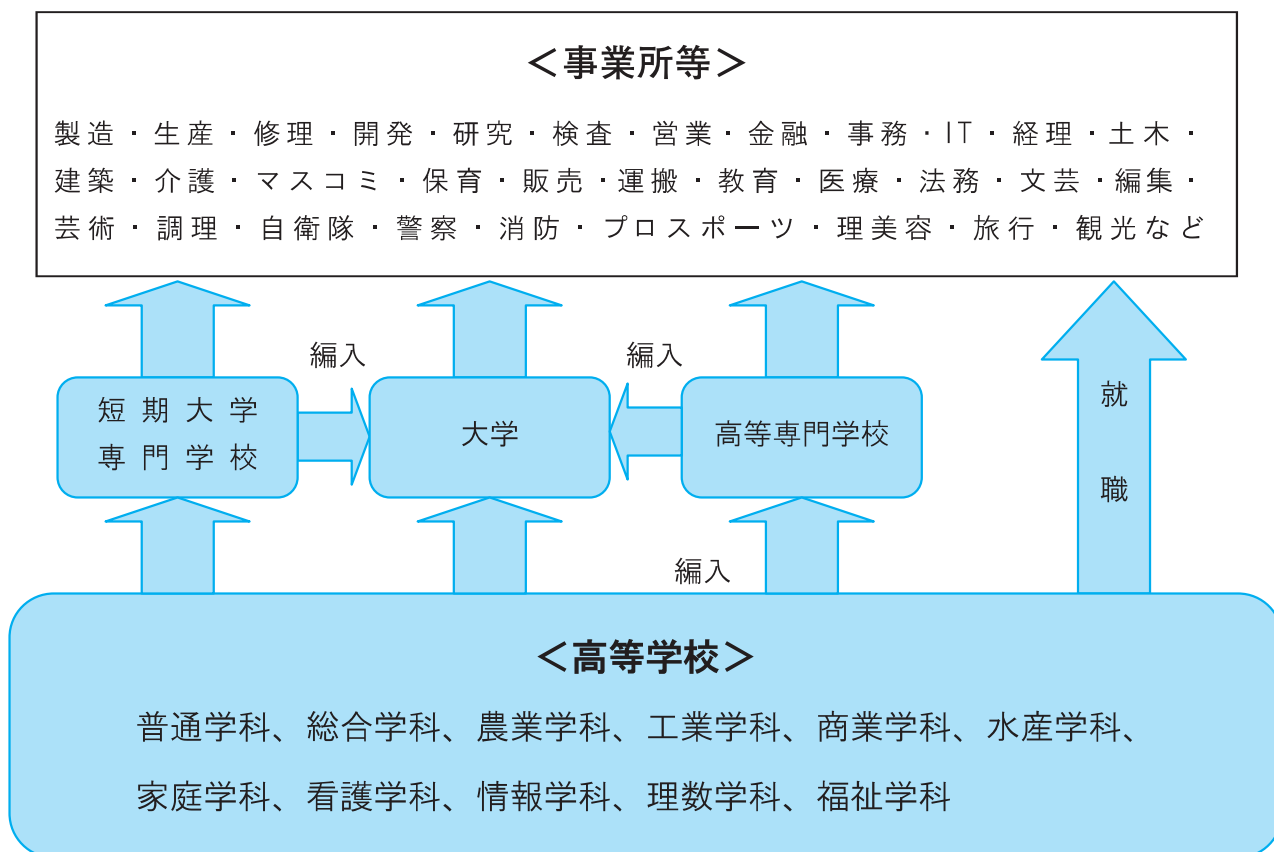
② 志望する高等学校を決める際のポイント

- ア 自分の希望する将来の職業や仕事とのかかわりを考えましょう。
- イ 自分の能力・適性を生かせるか考えましょう。
- ウ 自分の希望がかたまってきたら、進学先を複数調べて、比べてみましょう。
- エ 進路の決定は自分ですが、保護者・家族の意見や願いも知っておきましょう。

進路希望の意識調査によると、進学目的についてしっかりと考えている人もあれば、自分の考えがまとまっていない人もあるようです。しかし、高等学校の学習内容はより高度で専門的になりますから、自分の興味・関心や目標をしっかりと持ってどんなことを学習するのか十分吟味しましょう。

③ 高等学校卒業後の進路

高等学校には多くの学科があり、どの学科からでも進学も就職もできますが、学科の特色により進学先や就職先に特徴がでてきます。

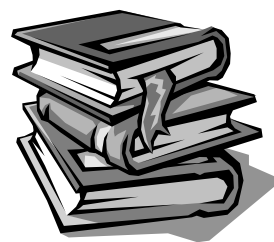


1つの事業所の中にも、いろいろな仕事内容があります。例えば、総合病院の場合を考えてみましょう。どのような仕事内容があるでしょうか。患者さんに対する医療、看護、検査やリハビリ等に関わる仕事として医師、看護師、助産師、臨床心理士、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、臨床検査技師等、数多くありますが、他にも薬剤師、管理栄養士、調理師、さらには財務・経理に関わる仕事、施設・機器等の管理を担当する仕事など、さまざまな仕事があります。そして、仕事の内容によっては資格を必要とするものがあります。

図のように、さまざまな学校歴(学習歴)の人によって、それぞれの事業は成り立っているのです。

2 高等学校の概要

県内の高等学校の仕組みを簡単に紹介します。



① 高等学校にはいろいろな課程があります

全日制課程 …中学校と同じように昼間登校し、3年間学習します。

定時制課程 …学習時間帯は、昼間と夜間の二つがあり、いずれも3年以上学習します。

通信制課程 …通信による学習を主としながら、定期的に登校して授業も受けます。

② 高等学校は設置者による違いがあります

公立高等学校 …国や地方公共団体（県）が設置し、運営する高等学校。

私立高等学校 …学校を創設した人の志（建学の精神）に基づいた教育を行う高等学校。

③ 高等学校にはいろいろな学科があります

学科には大きく分けて、普通学科、専門学科、総合学科があります。

普通学科 …国語や地理歴史、公民、数学、理科、外国語など、共通教科を中心に学びます。

専門学科 …農業や工業、水産業、商業など、専門教科を中心に学びます。実習が多く、産業を担う人材を育成します。

総合学科 …共通教科や専門教科の中から、自分の興味・関心や進路に応じ、科目を選択して学びます。

④ 専門学科にはいろいろな学科があります

農業学科 …生物生産、園芸、食品加工をはじめ、バイオテクノロジー、コンピュータを利用した流通、自然環境保全など幅広い内容を学びます。

工業学科 …ものを作ったり、機械を制御したりすることを学びます。それぞれの科やコースに応じた専門的な知識や技術を学び、将来、工業技術者として産業界などで活躍できる能力を身につけます。

水産学科 …海を科学的にみつめ、航海の技術、水産資源の活用、マリンスポーツ、食品加工などについて学びます。境港総合技術高等学校に設置されています。

商業学科 …販売やサービス、経理・営業・事務・情報処理など、ビジネスについて専門的な知識を学びます。

家庭学科 …家庭生活に関する知識と技術を総合的に学び、豊かな人間性を養い、家庭や地域社会の生活関連産業、福祉分野などで活躍する能力を培います。

看護学科 …看護に関する専門的な知識や技術を専門的に学びながら、生命尊重の考えや、健康を保持・増進させるための態度を身につけます。米子北高等学校に設置されています。

情報学科 …情報についての基礎力・基本的な知識や技術を学び、高度情報通信社会の中で情報を適正に活用できる能力を身につけます。鳥取湖陵高等学校に設置されています。

理数学科 …自然科学や数学に関する基本的な概念・原理・法則などについて理解を深め、科学的・数学的に考察し、能力を高めます。鳥取東高等学校に設置されています。

福祉学科 …社会福祉に関する基礎的・基本的な知識と技術を学び、「家庭や地域を支える」人材を養成します。そして、社会福祉関連の職業で活躍する能力を培います。境港総合技術高等学校に設置されています。

⑤ さらに細かく、科やコースに分かれています

入学した科やコースによって受けることのできる授業が、1年生のときから違います。科やコースでどんな勉強をするのか、よく考えて選びましょう。

⑥ 高校では中学校までなかった「単位」という言葉が出てきます

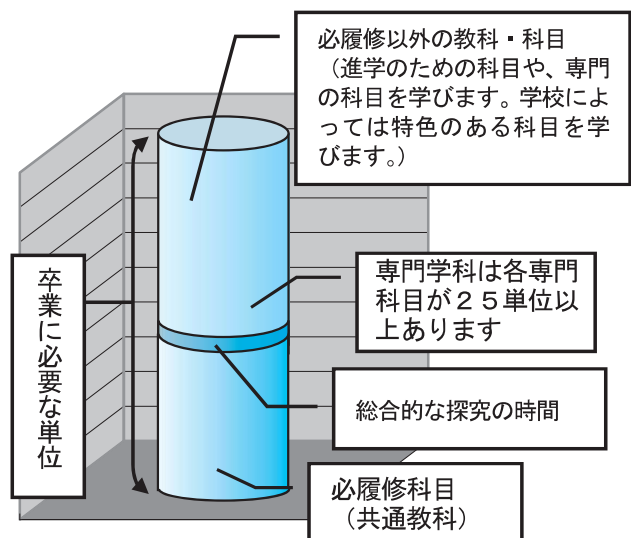
「単位」って何?…50分の授業を、1週間に1回ずつ、1年間受けると1単位です。

⑦ どうやったら卒業できる?

74単位以上(学校によって違います)を修得すると卒業できます。ただし、学校行事などの特別活動の成果が認められないといけません。

また、必修科目といって、すべての生徒が必ず履修しなければいけない科目があります。必修科目とは、共通教科(国語・地理歴史・公民・数学・理科・保健体育・芸術・外国語・家庭・情報)のうちの指定された科目をいい、合計35単位以上あります。さらに、「総合的な探究の時間」も必修科目です。

また、専門学科にはそれぞれの専門科目が25単位以上あります。なお、普通学科でも専門科目を学習できる学校もあります。



マメ知識

履修…学校で決められた時間数以上、授業を受けること

修得…履修し、かつ一定以上の学習の評価を得て、単位を取得すること

⑧ 学年制と単位制

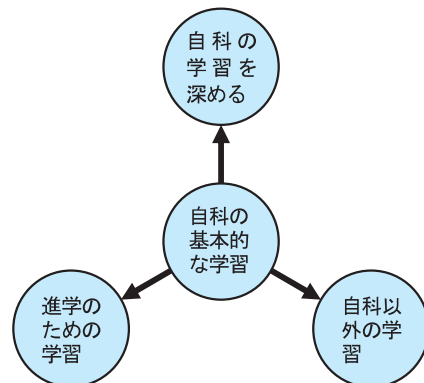
学年制は1学年ずつ決められた単位を修得しながら進級し、3年間で定められた単位を修得して卒業するシステムです。中学校と同じように、時間割はクラス固定で、選択科目以外はクラス単位で授業を受けます。

単位制は1年ごとに進級するのではなく、3年間で修得した単位数が定められた単位数になったら卒業できるシステムです。クラスはありますが、時間割は自分で選択した科目によるため、一緒に授業を受ける人もいろいろです。



⑨ 総合選択制って？

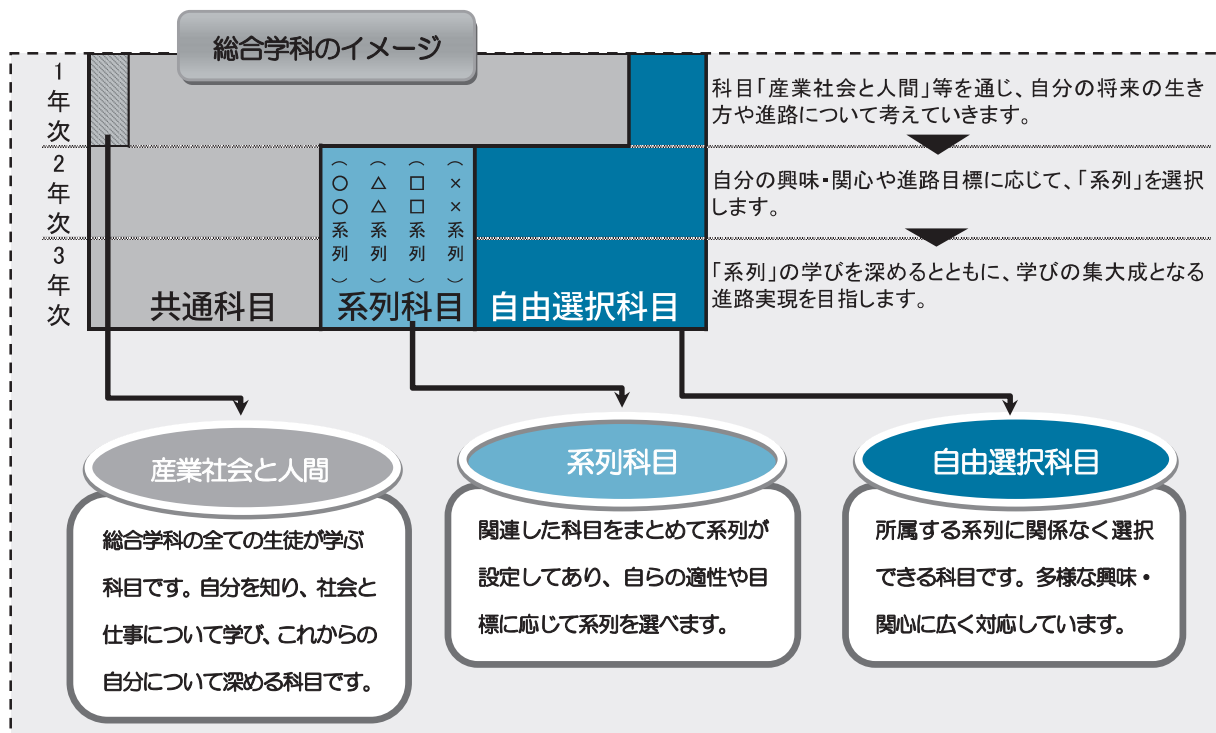
農業や工業、家庭など、異なった専門学科が複数ある学校において、自分が所属する学科の勉強だけでなく、学科の枠を越え、他の学科の勉強をしたり、進学のための共通教科の勉強をしたりすることができる制度です。学校によって違いますが、3年間でおよそ12単位前後の選択が出来ます。県内では、鳥取湖陵高等学校、倉吉総合産業高等学校、境港総合技術高等学校の3校に設置されており、いずれの学校も学年制です。



総合選択制はいろいろと選択して学習できます

⑩ 総合学科とは

「普通学科」と「専門学科」の枠を超えた総合的な学習ができ、一人ひとりの適性や個性を伸ばしながら、自ら進んで学習する力を身につけて自己実現することを目指した学科です。県内の全日制課程では、青谷高等学校、米子高等学校、日野高等学校に、定時制課程では鳥取緑風高等学校、米子白鳳高等学校に設置されています。



3 スクール・ミッション、スクール・ポリシーとは

「スクール・ミッション」とは、その学校の社会や地域における役割などを定めたものです。また、「スクール・ポリシー」とは、その学校がどのような生徒の育成を目指し、どのような学びを実践しているか、そして、どのような生徒の入学を求めているか、などを定めたものです。令和6年度末までに、全ての高等学校の「スクール・ミッション」、「スクール・ポリシー」を定めることとなっており、現在定められている高等学校については、本書の各学校の紹介ページに掲載しました。これらは、中学生のみなさんが、志望校を選ぶための大切なヒントとなるものです。各学校の紹介ページでは、様々な学校情報とあわせて参考にしてみてください。

① スクール・ミッションについて

各高等学校の存在意義や、各学校が期待されている社会的役割、目指すべき学校像を示しています。

地域や社会から、このような人材を育てて欲しい、このような役割を果たして欲しい、そういった各高等学校への期待を踏まえ、各高等学校が果たすべき役割、目指すべき姿を定めたものです。みなさんは、どのような将来の目標を考えていますか。どのような力を身につけたいですか。自分の目標とあわせてみてみるとよいでしょう。

② スクール・ポリシー（三つの方針）について

教職員や生徒が、学校の様々な教育活動を行ううえで、目指すべき指針となるものです。中学生のみなさんが目的を持って高校を選択するための大切なメッセージでもあります。

（1）グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）について

生徒の卒業後の姿を見据えて、学校教育活動を通じて生徒にどのような資質・能力を育成することを旨とするかを定めた基本的な方針です。みなさんが高等学校を卒業するとき、どのような力を身につけた自分でありたいですか。数年後の自分をイメージしながらみましょう。

（2）カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）について

グラデュエーション・ポリシーを達成するために、どのような教育活動を実施し、学習評価を行うのかを定めた基本的な方針です。グラデュエーション・ポリシーは、いわば、卒業後にこうありたい、という目標です。その目標達成ため、どのような学びを実践するのかを示したものがカリキュラム・ポリシーです。

（3）アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）について

カリキュラム・ポリシーとグラデュエーション・ポリシーに基づく教育内容等を踏まえ、入学時に期待される生徒像を示す基本的な方針です。みなさんが志望校を決めた際には、改めて志望校のアドミッション・ポリシーを確認し、その内容を意識して中学校生活をおくりましょう。